

SERI NEWS RELEASE

平成 25 年 3 月 25 日

一般財団法人静岡経済研究所
理事長 鈴木一雄
〒420-0853 静岡市葵区追手町 1-13
アゴラ静岡 5 階
TEL 054-250-8750
FAX 054-250-8770

平成 25 年 3 月

「静岡県内中堅・中小企業設備投資計画」調査結果

～計画額は増加に転じ、投資マインドも6年ぶりのプラスに～

□静岡県内の中堅・中小企業（321社）の平成25年度設備投資計画額は、前年度比+10.0%と増加に転じた。業種別では、輸送用機械器具、食料品といった業種で需要増加対応のための投資が増える一方、一般機械器具、電気機械器具で大幅なマイナスを見込み、製造業全体では+1.1%の小幅な増加。また、非製造業は運輸・倉庫業、ホテル・旅館業などの増加計画から、全体で+13.8%と回復の見通し。

□企業の設備投資マインドを示す設備投資S.I.は、全産業で+2.3と、昨年3月調査（△7.5）から上昇し、6年ぶりのプラスとなった。

担当：海野 覚

定例調査

平成25年度「静岡県内中堅・中小企業設備投資計画」調査

前年度比+10.0%の増加に転じる設備投資計画額 ～投資マインドは6年ぶりのプラスに～

設備投資計画の概要

25年度計画額は前年度比+10.0%増、S.I.も2.3とプラスに

平成25年度の全産業（321社）の設備投資マインドは2.3と、平成19年度以来6年ぶりにプラスとなった（図表1）。投資計画額も前年度実績見込比で+10.0%と増加に転じた。ただし、17業種中9業種で減少を見込むなど、業種間、企業間でばらつきがあり、景気の先行き不透明感が残っていることから、全体としては慎重な姿勢を崩していないとみられる（図表2）。

投資マインド——「前年と変わらない方針で実施する」が33.9%でもっとも多く、「ある程度前向きに実施する（33.5%）」と「積極的に実施する（4.5%）」の回答を合わせると7割強となり（図表3）、設備投資マインドを示す全産業のS.I.（Survey Index）は2.3となった。業種別では、製造業が0.9、非製造業が3.4とともにプラスに転じた。

業種別——業種別の投資額で見ると、製造業は前年度比+1.1%と伸び率が鈍化する。これは、需要増に対応するための工場建設や新製品投入のための設備導入を見込む輸送用機械器具（+53.8%）や食料品（+72.4%）が大幅に増加し、パルプ・紙・紙加工品（+20.4%）も、老朽施設の更新が引続き行われ2年連続の増加となる見通しだが、前年に本社移転や新規設備導入を実施したケースがみられた一般機械器具（△45.4%）や電気機械器具（△35.4%）が大幅なマイナスを見込むためである。

非製造業は前年度と比べて+13.8%と回復に転じる見通し。リース事業を拡大する企業があるなど運輸・倉庫業が+22.3%と大幅に増加する見込みであり、建物の大規模修繕を計画する企業が散見されるホテル・旅館業（+11.0%）も増加する模様。

図表1 設備投資S.I.（投資マインド）の推移（各年3月）

